

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エステティック理論Ⅰ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	村中 梨絵 ・ 杉山 葉月	学年・学期	1年・前期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・ エステティックに関する基礎知識、エステティックの歴史、資格制度、関連法規、生命活動の基本であるホメオスタシスについて学び、安全安心なエステティックのあり方を深める授業である。 ・ 授業は講義形式で「エステティック理論Ⅰ」における理論的学習と「フェイシャルエステティック基礎演習」および「ボディエステティック基礎演習」における技術的学習との関連性をもたせた授業展開を行う。						
到達目標	①エステティシャンとして社会で働くうえで、法令を遵守し、お客さまに安全安心なエステティックを提供する大切さ、お客さまから信頼されるエステティックサービスとはどのようなものなのか、を明確にし、エステティックの全体像を理解した上で従業できる基本を身につける。 ②将来目指す職業への関心を深め、就業に向けた実践的な行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	エステティックとは①						
第2週	エステティックとは②						
第3週	エステティックとは③						
第4週	エステティックの概念 ①						
第5週	エステティックの概念 ②						
第6週	エステティックの概念 ③						
第7週	エステティックに関連する法律 ①						
第8週	エステティックに関連する法律 ②						
第9週	エステティックに関連する法律 ③						
第10週	エステティックに関連する法律 ④						
第11週	エステティックに関連する法律 ⑤						
第12週	生命活動とホメオスタシス①						
第13週	生命活動とホメオスタシス②						
第14週	生命活動とホメオスタシス③						
第15週	前期試験対策						
評価方法	定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験（70％）・出席状況・授業態度（30％）						
教科書 教材など	AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術						
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務 杉山葉月：株式会社不二ビューティにてエステティシャンとして3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	皮膚科学Ⅰ		学科名	トータルビューティ学科			授業方法	
担当教員	村中 梨絵 ・ 杉山 葉月		学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	
授業概要 ・ 授業内容	・皮膚にはバリア機能があり、身体をさまざまな環境から守っている。また皮膚は「心の鏡」といわれ、心身の影響をととても受けやすくデリケートで日々変化している。 ・授業は講義形式で皮膚のしくみと美容上大切な皮膚の働きについて学び、皮膚の構造や仕組みを理解し、お客様に伝えられるように学習する。							
到達目標	・エスティックトリートメントで触れる皮膚について学び、お客様の皮膚の状態を理解する力を養う。お客様の肌を診て、触れて、お客様の肌の変化を常に関心される力を身に付ける。							
授業計画・内容								
第1週	皮膚の大切な役割			第16週	さまざまな皮膚の状態とお手入れのポイント			
第2週	皮膚の基本（構造と働き）①			第17週	衰えた肌			
第3週	皮膚の基本（構造と働き）②			第18週	色素沈着			
第4週	皮膚の基本（構造と働き）③			第19週	ニキビ、吹き出物			
第5週	皮膚の基本（構造と働き）④			第20週	敏感肌			
第6週	皮膚の基本（構造と働き）小テスト			第21週	季節と肌について			
第7週	美容に大切な皮膚の働き①			第22週	エイジングとお手入れのポイント①			
第8週	美容に大切な皮膚の働き②			第23週	エイジングとお手入れのポイント②			
第9週	美容に大切な皮膚の働き③			第24週	女性ホルモンと肌への影響			
第10週	美容に大切な皮膚の働き④			第25週	ストレスと肌への影響			
第11週	美容に大切な皮膚の働き⑤			第26週	肌荒れと敏感肌①			
第12週	肌タイプとお手入れのポイント①			第27週	肌荒れと敏感肌②			
第13週	肌タイプとお手入れのポイント①			第28週	カウンセリングアドバイス練習			
第14週	カウンセリングシート記入・肌診断			第29週	カウンセリングアドバイス練習			
第15週	カウンセリングシート記入・肌診断			第30週	カウンセリングアドバイス練習			
評価方法	定期試験（、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験（60％）、課題提出および内容・小テスト（20％）、出席状況・授業態度（20％）							
教科書 教材など	①AJESTHE認定フェイシャルエスティシャン AJESTHE認定ボディエスティシャン 理論と技術 ②フェイシャルトリートメントのマニュアル							
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエスティシャンとして10年勤務 杉山葉月：株式会社不二ビューティにてエスティシャンとして3年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	解剖生理学Ⅰ		学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	村中 梨絵 ・ 杉山 葉月		学年・学期	1年・後期	時間数	15時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	・人の身体はその最小単位が細胞であると同時に、組織や器官で構成されたひとつの生命体でもある。エステティシャンが身体のしくみと構造、働きを理解することは、安全で効果的なトリートメントを提供する上で必要である。 ・授業は講義形式でエステティック技術演習における技術的学習との関連性をもたせ、トリートメントに生かせる授業展開を心がける。							
到達目標	①エステティシャンが施術する際に必要な筋肉や骨、リンパ節の正確な位置やしくみ、働きについて理解する。 ②身体のしくみと働きを理解し、お客様の心身のさまざまな変化や反応を確認しながら、施術方法を調整することへつなげていく。 ③身体の構造を理解することで、トリートメントにおける禁忌の理由を理解させ、安全なトリートメントを行う力を養う。							
授業計画・内容								
第1週	授業内容、評価の付け方、ノート作成							
第2週	身体の基本 細胞①							
第3週	身体の基本 細胞②							
第4週	組織 器官系							
第5週	骨の構造と働き①							
第6週	骨の構造と働き①							
第7週	骨の構造と働き小テスト							
第8週	筋肉の働きと種類①							
第9週	筋肉の働きと種類②							
第10週	筋肉の働きと種類③							
第11週	筋肉の働きと種類 小テスト							
第12週	神経系 中枢神経							
第13週	神経系 末端神経①							
第14週	神経系 末端神経②							
第15週	神経系 小テスト							
評価方法	・後期に学期末試験を実施し、筆記試験の結果と授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：筆記試験（90％）・出席や授業態度（10％）							
教科書 教材など	AJESTHE認定フェイシャルエステティシャン AJESTHE認定ボディエステティシャン 理論と技術							
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務 杉山葉月：株式会社不二ビューティにてエステティシャンとして3年勤務					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	フェイシャルエステティック基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵 ・ 杉山 葉月	学年・学期	1年・通年	時間数	105時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ フェイシャルエステティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を習得する。基本的なエステティック機器の使用 方法や目的、注意事項や禁忌事項を学ぶ。美容に携わるのにふさわしい立ち居振る舞い、身だしなみの指導をする。 ・ 授業は演習形式で、美容理論における理論的学習との関連性をもたせた授業展開を心がける。						
到達目標	①事前準備も含めて、お客さまをおもてなしする姿勢と力を身につける。 ②社会人としての立ち居振る舞いを身に付ける。 ③ノーマル肌に対してトリートメントができる力を養う。 ④エステティックに触れ、エステの良さを体感する						
第 1 週	事前準備 ワゴン、ベットお客様のお通し		第 1 6 週	フェイシャルトリートメントノーマル工程の復習			
第 2 週	事前準備 ～ストレッチまで		第 1 7 週	フェイシャルトリートメント ノーマル工程			
第 3 週	ウィッグによる実習 クレンジング		第 1 8 週	エステティック機器 スチーマーの使用			
第 4 週	相モデルによる実習 クレンジング		第 1 9 週	エステティック機器 スチーマーの使用			
第 5 週	相モデルによる実習 スチームタオル		第 2 0 週	エステティック機器 吸引を含む工程			
第 6 週	相モデルによる実習 化粧水 乳液		第 2 1 週	エステティック機器 吸引を含む工程			
第 7 週	クレンジングテストの練習及び実施		第 2 2 週	ノーマル肌フルトリートメント パック			
第 8 週	オイルマッサージ軽擦法 強擦法		第 2 3 週	ノーマル肌フルトリートメント パック			
第 9 週	オイルマッサージ揉擦法 打法 振動法		第 2 4 週	ノーマル肌フルトリートメント パック			
第 1 0 週	オイルマッサージ圧迫法 軽擦法		第 2 5 週	エステティック機器 エレクトロクレンジング			
第 1 1 週	オイルマッサージ通し		第 2 6 週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程			
第 1 2 週	オイルマッサージ通し		第 2 7 週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程			
第 1 3 週	マッサージテストの練習及び実施		第 2 8 週	ノーマル肌フルトリートメント エレクトロクレンジングを含む工程			
第 1 4 週	フェイシャルトリートメントノーマル工程		第 2 9 週	ノーマル肌の工程 試験対策			
第 1 5 週	フェイシャルトリートメントノーマル工程 試験対策		第 3 0 週	ノーマル肌の工程 試験対策			
評価方法	・ 定期試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技試験（60％）・見極めテスト10点×2回（20％）・授業態度や出席（20％）						
教科書 教材など	A J E S T H E 認定フェイシャルエステティシャン A J E S T H E認定ボディエステティシャン 理論と技術						
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務 杉山葉月：株式会社不二ビューティにてエステティシャンとして3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ボディエスティック基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	村中 梨絵 ・ 杉山 葉月	学年・学期	1 年・後期	時間数	7 5 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ ハンドマッサージによるお手入れを中心に、ボディエスティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を学習し、一つ一つの手技の目的、効果を理解する。 ・ 授業方法は演習形式で身体の生理機能や解剖学の知識を踏まえて、骨格や筋肉など理解して行う。						
到達目標	①ボディエスティックの基本的な流れ、ベーシックな技術を習得する。 ②お客様にリラックスしていただけるようなタオル捌き、雰囲気作り、声掛けを身に付ける。 ③基本手技を理解し、全身のマッサージができるようにする。						
授業計画・内容							
第 1 週	ベットメイク、事前準備と前操作						
第 2 週	下肢背面のマッサージ						
第 3 週	背中 of マッサージ						
第 4 週	前操作と背面 of マッサージの通し						
第 5 週	前操作と背面 of マッサージの通し						
第 6 週	前操作と背面 of マッサージの見極めテスト						
第 7 週	下肢前面 of マッサージ						
第 8 週	上肢 of マッサージ						
第 9 週	デコルテ、首、頭のマッサージ						
第 1 0 週	前面 of マッサージの通し						
第 1 1 週	前面 of マッサージの通し						
第 1 2 週	前面 of マッサージの見極めテスト						
第 1 3 週	全身マッサージ(口頭試問含む)						
第 1 4 週	全身マッサージ(口頭試問含む)						
第 1 5 週	後期試験対策						
評価方法	・ 後期に学期末試験を実施し、実技試験と見極めテスト及び授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：出席率や授業態度（20％） ・ 見極めテスト10点×2回（20％） ・ 実技試験（60％）						
教科書 教材など	A J E S T H E 認定フェイシャルエステティシャン A J E S T H E 認定ボディエスティシャン 理論と技術						
実務経験	村中梨絵：株式会社AILEにてエステティシャンとして10年勤務 杉山葉月：株式会社不二ビューティにてエステティシャンとして3年勤務				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	化粧品学	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	木村・青木	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	化粧品学を学ぶ事で、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようにする。授業は講義形式を中心に行う中で効能別商品に触れながら自身の肌で実感し、相モデルでアドバイスやご紹介をしていく。機器からのデータを分析し、必要性や役割を実感させる。						
到達目標	美容関連の仕事に携わるうえで、メイクアップ・ネイル・エステティック、どの分野に就職しても必要となる技術である、多種類ある化粧品の中からお客様に最適な商品を提案できるようになる。成分だけで、化粧品の中身がどんな効能を期待できるか判断できるようになる。						
授業計画・内容							
第 1 週	医薬品・医薬部外品・化粧品		第 1 6 週	化粧品の取り扱い上の留意点①			
第 2 週	薬機法		第 1 7 週	化粧品の取り扱い上の留意点②			
第 3 週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品)		第 1 8 週	確認テスト			
第 4 週	化粧品の分類①(フェイシャル化粧品) 実習		第 1 9 週	官能評価について①			
第 5 週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)		第 2 0 週	官能評価について②			
第 6 週	化粧品の分類②(メイクアップ化粧品)実習		第 2 1 週	官能評価について③			
第 7 週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)		第 2 2 週	官能評価について④			
第 8 週	化粧品の分類③(ボディ化粧品)実習		第 2 3 週	まとめ			
第 9 週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)		第 2 4 週	ブランド別成分と効果①			
第 1 0 週	化粧品の分類④(ヘアケア化粧品)実習		第 2 5 週	ブランド別成分と効果②			
第 1 1 週	化粧品の分類⑤(フレグランス)		第 2 6 週	ブランド別成分と効果③			
第 1 2 週	化粧品の分類⑤（フレグランス） 実習		第 2 7 週	ブランド別成分と効果④			
第 1 3 週	確認テスト		第 2 8 週	ブランド別成分と効果⑤			
第 1 4 週	化粧品の品質と品質保証		第 2 9 週	まとめ			
第 1 5 週	化粧品の分類		第 3 0 週	確認テスト			
評価方法	定期試験を実施し筆記テストの結果と出席状況や授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（90％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	一般社団法人日本エステティック協会テキストを基に作成したプリント/日本化粧品検定2級3級対策テキスト						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ケーススタディ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	木村・青木	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	顔のバランスと印象についてより詳しくみて学んでいく。顔の分析をしていく上で、どのようなバランスであるか、そのバランスがどのような印象を与えるかを理解していく。フェイシャル画を描く練習も行い、顔の修正バランスも理解できるように学んでいく。また顔分析ができるようにたくさんの顔をみて、目を養っていく。						
到達目標	顔分析が的確に行えるようになる。個性や魅力を活かしたメイク、目指すイメージメイクに合わせたメイクができるようになる。						
授業計画・内容							
第 1 週	フェイシャル画の基礎		第 1 6 週	アイブロウによる顔のバランス調整			
第 2 週	フェイシャル画の描き方①		第 1 7 週	アイブロウによる顔のバランス調整 実習			
第 3 週	フェイシャル画の描き方②		第 1 8 週	アイメイクによる顔のバランス調整			
第 4 週	顔の型の分析と印象①		第 1 9 週	アイメイクによる顔のバランス調整 実習			
第 5 週	顔の型の分析と印象②		第 2 0 週	チークによる顔の顔のバランス調整			
第 6 週	印象の分類①フェミン顔とマニッシュ顔		第 2 1 週	チークによる顔の顔のバランス調整実習			
第 7 週	印象の分類②フェミニン顔とマニッシュ顔		第 2 2 週	リップによる顔のバランス調整			
第 8 週	メイクアップのバランス調整①子供顔と大人顔		第 2 3 週	リップによる顔のバランス調整 実習			
第 9 週	メイクアップのバランス調整②子供顔と大人顔		第 2 4 週	ハイライ、ローライトによる顔のバランス調整			
第 1 0 週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ①		第 2 5 週	ハイライ、ローライトによる顔のバランス調整実習			
第 1 1 週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ②		第 2 6 週	実技テスト練習①			
第 1 2 週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ実習		第 2 7 週	実技テスト練習②			
第 1 3 週	子供の顔、大人の顔の修正メイクアップ実習		第 2 8 週	実技テスト練習③			
第 1 4 週	フェミニン顔、マニッシュ顔の修正メイクアップ①		第 2 9 週	実技テスト			
第 1 5 週	フェミニン顔、マニッシュ顔の修正メイクアップ実習		第 3 0 週	まとめ			
評価方法	定期試験を実施し、前期、後期実技試験の結果と小テスト、授業態度や身だしなみ、出席状況及び提出物や小テストを考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技試験と小テスト（60％）・授業態度・出席や身だしなみ（30％）・提出物（10％）						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級、講師作成プリント						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	メイクアップ基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村・青木	学年・学期	1年・前期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・日本メイクアップ技術検定試験のテキストを柱に基礎を固め、3級取得を目指すことで、技術保持者の証とする。 （メイクアップの基本：スキンケア・ベースメイク・ハイライト・ローライト・チーク/アイブロウ・アイメイク・リップ） ・基本的には相モデルで実習を重ねる。毎回相モデルを変えることで、様々な肌質や骨格のお客様に対応できる技術を身に付ける。						
到達目標	日本メイクアップ技術検定3級取得を目指す。3級の内容を学ぶことで、30分以内でスキンケア、ベースメイクがスムーズに行えるようになる他、ベースメイクの質感がコントロールできる、顔型の分析力ができるようになる。						
授業計画・内容							
第1週	メイクアップオリエンテーション・道具のセッティング						
第2週	パーツの名称、基本スタンス/ドールを使用したクレンジング実習①						
第3週	ドールを使用したクレンジング練習②						
第4週	クレンジングテスト						
第5週	ドールを使用したスキンケア練習①						
第6週	ドールを使用したスキンケア練習②						
第7週	ドールを使用したスキンケア練習③/ベースメイク練習						
第8週	確認テスト						
第9週	相モデル練習①						
第10週	相モデル練習②						
第11週	相モデル練習③						
第12週	相モデル練習④						
第13週	確認テスト						
第14週	まとめ						
第15週	3級検定受験						
評価方法	検定試験結果・授業内容・授業態度・出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：検定試験結果（80％）・提出物（10％）授業態度・出席状況（10％）						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	バリエーションメイクアップ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	木村・青木	学年・学期	1年・後期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	日本メイクアップ技術検定試験のテキストを柱に、2級取得を目指す。2級取得後は、イメージメイク2パターン（キュート・フレッシュ）がメイクで表現できるように練習する。希望者にはシュウウエムラ メイクアップ技術検定試験の検定対策を行う。						
到達目標	日本メイクアップ技術検定2級取得を目指す。 2級の内容を学ぶことで、メイクオフからフルメイクまで、50分間でできるようになる。						
授業計画・内容							
第1週	3級までの復習、確認テスト						
第2週	ファンデーションブラシテクニック（2級試験課題）						
第3週	ポイントメイク/アイブロウ①						
第4週	ポイントメイク/アイブロウ②						
第5週	ポイントメイク/アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ①						
第6週	ポイントメイク/アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ②						
第7週	ポイントメイク/アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ③						
第8週	ポイントメイク/リップ①						
第9週	ポイントメイク/リップ②						
第10週	ポイントメイク確認テスト						
第11週	通し練習（30分間）						
第12週	スキンケアから通し練習（50分間）①						
第13週	スキンケアから通し練習（51分間）②						
第14週	模擬試験						
第15週	2級検定受験						
評価方法	検定試験結果・授業内容・授業態度・出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：検定試験結果（60％）授業内容（10％）授業態度（10％）提出物（10％）出席状況（10％）						
教科書 教材など	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 3級2級						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ネイル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井・木村・青木	学年・学期	1年・前期	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	7月に行われるネイリスト技能検定3級試験合格を目標に、ネイルケア、ポリッシュカラーリング、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を身に付けていきます。基本は相モデルで練習していきます。						
到達目標	ネイリスト技能検定3級合格						
授業計画・内容							
第1週	自己紹介、シラバスで年間スケジュールの説明、教材確認、品名ラベル・名前シール貼り						
第2週	品名ラベル・名前シール貼り、テーブルセッティング、ファイルの面取り、ウッドスティック削り、テキスト読み、DVD						
第3週	ハンドにチップ付け、爪の形の説明、エメリーボードの持ち方使い方、ラウンドの仕方デモ、ハンドでラウンド練習						
第4週	爪の各部名称のテスト、ラウンド練習（ハンド）、ネイルケアの流れプリントで説明、デモ、相モデル練習（プッシュアップまで）						
第5週	ラウンド練習（ハンド）、ネイルケア相モデル練習（プッシュアップまで）ニッパー使い方説明、デモ、相モデル練習						
第6週	ネイルケア相モデル練習（消毒～ニッパー処理まで）、カラーリング説明、デモ、紙・ハンドで練習						
第7週	ネイルケアカラーリング相モデル練習、リムーブデモ、リムーブ練習						
第8週	フラットカラー練習（説明、デモ、紙の上で練習、ハンドで練習、相モデル練習）						
第9週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習						
第10週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第11週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第12週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強・模擬試験						
第13週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
第14週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強・模擬試験						
第15週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習・筆記試験過去問題勉強						
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 前期試験は実技・筆記共に実施し、トータルで評価する。						
教科書 教材など	JNAテクニカルシステム（ベーシック・ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社　うるわし）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル基礎演習	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井・木村・青木	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識や技術を伝え、習得していきます。相モデルで練習します。						
到達目標	J N A ジェルネイル技能検定試験初級・中級合格						
授業計画・内容							
第 1 週	教材確認、テキスト読み		第 1 6 週	ジェルアート（ピーコック練習）			
第 2 週	テキスト読み		第 1 7 週	ジェルネイル相モデル練習（初級）			
第 3 週	ラウンド練習、ネイルケア説明、デモ		第 1 8 週	〃			
第 4 週	ラウンド練習、ネイルケア相モデル練習		第 1 9 週	〃			
第 5 週	ネイルケア相モデル練習		第 2 0 週	ジェル中級課題練習（フレンチ）			
第 6 週	カラーリング練習		第 2 1 週	ジェル中級課題練習（ピンクグラデ）			
第 7 週	ネイルケア、カラーリング相モデル練習		第 2 2 週	ジェル中級課題練習（イクステンション）			
第 8 週	フラットアート練習		第 2 3 週	ジェルネイル相モデル練習（中級）			
第 9 週	リムーブ、ケア、カラー、アート相モデル練習		第 2 4 週	〃			
第 1 0 週	〃		第 2 5 週	〃			
第 1 1 週	〃		第 2 6 週	〃			
第 1 2 週	〃		第 2 7 週	〃			
第 1 3 週	〃		第 2 8 週	〃			
第 1 4 週	ジェルについて説明、教材確認		第 2 9 週	〃			
第 1 5 週	ジェルネイルやり方、手順説明、ハンド練習		第 3 0 週	〃			
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 前期・後期試験共に実技・筆記を行い、トータルで評価する						
教科書 教材など	J N A テクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト検定試験公式問題集						
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験 1 2 年（有限会社　うるわし）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ジェルネイル応用演習Ⅰ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	石井・青木	学年・学期	1年・後期	時間数	90時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	ジェルネイル初級・中級検定合格を目標に、各級の知識及び技術を身に付けていきます。 相モデルで練習します。						
到達目標	J N A ジェルネイル技能検定試験　　初級合格・中級合格						
授業計画・内容							
第1週	ジェルアート（ピーコック）練習（ハンド、相モデル）・筆記勉強						
第2週	ジェルネイル相モデル練習（初級）右手：ジェルカラーリング（中指ピーコックアート）左手：ポリッシュカラーリング						
第3週	〃　　・筆記勉強						
第4週	〃						
第5週	ジェル中級課題練習　フレンチ（ハンド、相モデル）						
第6週	〃　　　　　　　　　　ピンクグラデ（　〃　）						
第7週	〃　　　　　　　　　　イクステンション（　〃　）						
第8週	ジェルネイル相モデル練習（中級）・筆記勉強						
第9週	〃						
第10週	〃						
第11週	〃						
第12週	〃						
第13週	〃						
第14週	〃						
第15週	〃						
評価方法	出席状況、授業態度、課題提出状況 後期試験は、実技・筆記共に実施し、上記とトータルで評価する。						
教科書 教材など	J N A テクニカルシステム（ジェルネイル） ネイリスト技能検定試験公式問題集						
実務経験	石井貴子：サロンワーク経験12年（有限会社　うるわし）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	就職ゼミ	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	木村・青木	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	2年次の就職活動に向けての必要な知識を学ぶ。また、就職に関するガイダンス・企業説明会等を実施し、就職活動に関する情報を提供する。その情報をもとに、自分自身が取捨選択し、解決能力を身に付けることができるよう指導する。 授業は講義形式・グループワークを組み合わせで行う。就職活動の進度に応じて個別の面接練習を行う。						
到達目標	就職の目的や目標を明確にし、将来目指す職業への関心を深め、働くことの意義や職業理解を通じて、学生一人ひとりが意欲的に就職活動に向けた行動がとれるようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、就職ゼミの授業概要	第16週	業界・職業を知る① (業界研究)				
第2週	わかりやすく伝える(伝言ゲーム)	第17週	業界・職業を知る② (企業研究)				
第3週	グループディスカッション、グループワークの説明	第18週	業界・職業を知る③ (卒業生ガイダンス)				
第4週	グループディスカッション演習①	第19週	グループディスカッション演習③				
第5週	グループディスカッション演習②	第20週	グループディスカッション演習④				
第6週	グループワーク演習①	第21週	クレペリン検査模擬試験				
第7週	グループワーク演習②	第22週	能力適性検査模擬試験				
第8週	自己分析① (自己分析の必要性)	第23週	グループワーク演習③				
第9週	自己分析② (今までに力を入れたこと、趣味)	第24週	グループワーク演習④				
第10週	自己分析③ (クラブ活動・文化活動、自覚している性格)	第25週	会社説明会の参加の仕方				
第11週	自己分析④ (自己紹介、自己PR)	第26週	企業を知る(企業ガイダンス)				
第12週	自己分析⑤ (将来の夢、5年後10年後の自分)	第27週	面接試験のマナー①				
第13週	就職サイトの登録	第28週	面接試験のマナー②				
第14週	オープンエントリーシート作成①	第29週	履歴書の書き方①				
第15週	オープンエントリーシート作成②	第30週	履歴書の書き方②				
評価方法	定期試験、課題提出および内容、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験(60%)・課題やレポート(20%)・授業態度や出席(20%)						
教科書 教材など	プリント、就職ハンドブック						
実務経験	F i k a b e a u t y & r e l a x オーナー歴1年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	エレガントマナー	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	藤原 青木	学年・学期	1年・通年	時間数	30時間	必須・選択	必須
	前期：マナープロトコルの教材を使用し、「テーブルマナー」「食事（和・洋）のマナー」「冠婚葬祭のマナー」等、一般マナーを習得。また人と良好な人間関係を構築するための立ち居振る舞いを実践形式で実地する。 後期：「学生と社会人の違い」「組織人として求められること」などの講義を行い、社会人としての意識を高めていただく。キャリアアトランプを使用し自信を持って就職活動に臨めるよう「自分の強み」を知り自己肯定感をあげていただく。お客様心理を理解していただき、ワンランク上の立ち居振る舞いを実践し美しい立ち居振る舞いを習得していただく。						
到達目標	社会人として、大人の女性をして自信を持って社会に出ていける力を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	マナーの歴史 お辞儀の仕方	第16週	学生と社会人の違い エレガントマナー：お辞儀の仕方 基本編の復習				
第2週	国際人としてのマナー：席次 エレガントマナー：お辞儀の仕方～基本編～	第17週	社会人としての心得 エレガントマナー：座り方の復習 / 歩き方				
第3週	国際人としてのマナー：パーティーとドレスコード エレガントマナーお辞儀の仕方～基本編～	第18週	お客様心理を知る エレガントマナー：歩き方				
第4週	国際人としてのマナー：ドレスコードワーク エレガントマナー：お辞儀の仕方～基本編～	第19週	言葉遣い：接客用語 エレガントマナー：ご案内の仕方				
第5週	国際人としてのマナー：異文化コミュニケーション 座り方	第20週	クレーム対応 エレガントマナー：モノの拾い方/ジャケットの着脱				
第6週	贈答のマナー エレガントマナー：座り方	第21週	キャリアアトランプ①：自己理解 グループ1				
第7週	食事のマナー① 洋食 エレガントマナー：笑顔の作り方	第22週	キャリアアトランプ①：自己理解 グループ2				
第8週	食事のマナー② 洋食ワーク	第23週	キャリアアトランプ②：捉え方を変える グループ1				
第9週	食事のマナー③和食と中華	第24週	キャリアアトランプ②：捉え方を変える グループ2				
第10週	食事のマナー④和食ワーク	第25週	キャリアアトランプ③：「自分の強み」を知る				
第11週	食事のマナー⑤：お茶（抹茶）と茶菓のいただき方 実践	第26週	オンライン面接対策：自分の見せ方				
第12週	ワインの種類といただき方 冠婚葬祭①：通過儀礼「冠」	第27週	エレガントマナー：好印象を与える身だしなみ				
第13週	冠婚葬祭②：「婚」	第28週	面接で好印象を与える立ち居振る舞い。 ～入室から退室まで～				
第14週	冠婚葬祭③：「葬」「祭」	第29週	面接で好印象を与える立ち居振る舞い。 ～入室から退室まで～				
第15週	前期復習：マナープロトコル	第30週	まとめ				
評価方法	定期試：60％ 小テスト：20％ 授業態度：10％ 出席：10％						
教科書 教材など	・「マナー&プロトコルの基礎知識」NPO法人日本マナープロトコル協会 ・ 補足プリント						
実務経験	Air Bonheur 代表				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サービス接客検定対策	学科名	トータルビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	宮原香由里	学年・学期	1年・通年	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	サービス接客検定対策は、「サービス接客検定」に合格することを目的とする教科である。但し検定合格だけでなく、社会人の基本動作、サービススタッフの心構え、実務で使える接客知識と対人接客技能を身に付ける授業でもある。 前期はサービススタッフとしての心構えと3級～2級レベルの知識を学習する。 後期は準1級ロールプレイ合格を目指し、グループワークにより接客技能を身に付ける。また、検定対策と同時に就職の面接対策にもつながるロールプレイ訓練を行う。 サービス接客検定は3級と準1級が必須受験、2級は任意受験とし、いずれかの級に合格することが単位認定の条件となる。 (2級は補習により対策する予定)						
到達目標	①返事、挨拶、お辞儀、敬語を徹底して習得し日常的に使える接客の基本言動を学び、サービス接客検定準1級レベルの感じの良い接客者としての物腰や愛想愛敬のある接客スキルを身に付ける。 ②ノートを取り、自分のマニュアル作成ができるようにする。 ③授業プリントをファイリングすることで、日常的に書類管理できるスキルを身に付ける。 ④課題等の提出物の期日を守るための時間管理能力を向上させる。 ⑤授業時に身だしなみを整えることを意識することで、社会人の仕事への姿勢に対する準備や意識、感覚を持つようにする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション		第16週	第一印象の重要性			
第2週	サービス接客検定で身に付けること		第17週	サービス接客検定準1級 検定の流れ			
第3週	挨拶と基本動作【挨拶訓練】		第18週	サービス接客検定準1級 入室～挨拶			
第4週	敬語の成り立ちと種類（尊敬語）		第19週	サービス接客検定準1級 基本言動1			
第5週	敬語の種類（謙譲語、丁寧語）		第20週	サービス接客検定準1級 基本言動2			
第6週	敬語の種類(敬称、小テスト)		第21週	サービス接客検定準1級 接客応答1			
第7週	接客用語		第22週	サービス接客検定準1級 接客応答2			
第8週	接客表現		第23週	サービス接客検定準1級 接客応対1			
第9週	敬語総合練習		第24週	サービス接客検定準1級 接客応対2			
第10週	接客サービスの知識		第25週	サービス接客検定準1級 検定リハーサル			
第11週	接客の流れ		第26週	グループワーク反省会 準1級総括			
第12週	顧客心理		第27週	接客サービス業を目指して 【総合演習1】			
第13週	贈答知識1		第28週	接客サービス業を目指して 【総合演習2】			
第14週	贈答知識2		第29週	接客サービス業を目指して 【総合演習3】			
第15週	サービス接客検定3級対策		第30週	総まとめ			
評価方法	前期は①前期試験点、②授業点（課題提出と授業態度）、③出席率を1：1：1で評価する。 後期（学年末評価）は、④サービス接客検定（合格者には40点）、⑤授業点（課題提出と授業態度で50点）、⑥出席率（10点）で、④⑤⑥の合計点で計算する。 令和6年1月末までに検定が不合格の場合は再試対象となり、2月の検定に申し込むことを再試受験の条件とする。						
教科書 教材など	講師作成のプリントを使用する。 サービス接客検定3級（全員11月に受験）の対策用の実問題集は貸し出す。 サービス接客検定2級受験者（任意）には、対策のための補習授業を予定している。実問題集の貸し出しあり。						
実務経験	各種専門学校や一般企業、公共職業訓練等でビジネスマナー・インストラクターとしての経験あり 本年度27年目				実務経験のある教員による 授業科目		✓